

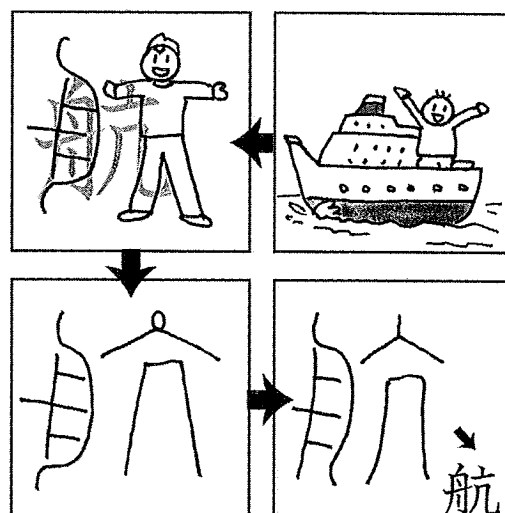
四年

圖 10  
 習タイ  
 訓おび・おビル



四年

圖 10  
 習コウ



腰に巻いた「帯」にいろいろな物をはさんだ形の「巾」と、二重にした布の意味の「巾」とを組み合わせた字です。昔は、「物を身に着ける」ことを、「身に帯びる」といいました。また、腰に巻く布のことを「身におびる物」という意味で、「おび」といいます。

**熟語例**  
 携帯Ⅱ身に帯びていること  
 带状Ⅱ帯のように細長くつづいている様子  
**同時に覚えることば**  
 「希」は、「布」の意味の「巾」と、「刺繡の模様」を表した「交」とを組み合わせた字です。「刺繡のあるりっぱな布」という意味から、「めつたにない」品物「だれもが手に入れない」と「ぞむむ」品物」を表します。「めつたにない」「ぞむむ」という意味に使われます。熟語例Ⅱ希薄、希望

「人が両手を広げ、両足をふん張って、相手に抵抗する」ことを表した「亢」と、「舟」の形を表した「舟」とを組み合わせた字です。「水の流れて抵抗して舟を進める」ことを意味しますが、水の流れて関係なく「舟を進める」ことに使います。また、飛行機で空を飛ぶことを表すのにも使います。

**熟語例**  
 航海Ⅱ船で海を渡ること  
 航路Ⅱ船や飛行機が通って行く路筋  
**同時に覚えることば**  
 「船」は、水の流れて沿って下るという意味の「舟」と、「舟」とを組み合わせた字です。「水の流れて沿って進む舟」を表し、「舟」よりも大型のものをいうのに使います。熟語例Ⅱ船長、客船